

鳥取縣公報

縣令

昭和二十一年一月廿五日
第一千六百八十二號

金曜日

本書ノ大ニハ國定規格A5判

◇鳥取縣令第三號

銃砲刀劍其ノ他民間保有戎器所持禁止ノ件左ノ通定ム

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬

三

銃砲刀劍其ノ他民間保有戎器所持禁止ノ件

銃砲刀劍其ノ他民間保有戎器ハ所轄警察署長ノ許可ナク
シテ之ヲ所持スルコトヲ得ス 但シ刀劍中刃渡九寸五分
以下ノヒ口ノ類ハ除ク

前項ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年四月鳥取縣令第二十八號ハ之ヲ廢止ス

◇鳥取縣令第四號

昭和十八年一月鳥取縣令第一號鳥取縣藥工品配給統制規則
施行細則中左ノ通改正ス

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬

三

第一條中「もつこ及ぶご」ヲ「もつこ、ぶご及菰」ニ改ム

第一條ノ一 削除

第二條 藥工品配給統制規則（以下規則ト稱ス）第四條第

二項ニ依ル届出ハ左ニ依ルモノトス

一 毎年九月二十日迄ニ十一月以降翌年十月三十一日ニ

至ル一箇年間ノ種類別及時期別（自十一月及自五月ノ

二期ニ區分）生産計畫

二 每四半期（自四月 自七月 自十月 自一月ノ四
至六月 至九月 至十二月 至三月ノ四

00253

告示

鳥取縣告示第二十二號

選舉ニ關スル告示ニシテ左ニ掲グル場合ハ日本海新聞廣告欄ニ之ヲ掲載ス

- 一 鳥取縣公報ニ登載ノ方法ニ依ルニ於テハ之ガ到達遲延ノ虞アリ告示ノ目的ニ影響アリト認メラル、トキ
- 二 鳥取縣公報ヲ發行シ得ザル場合ニ於テ市役所及町村役場ノ揭示場ニ揭示スルノ暇ナキトキ

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬 三

鳥取縣告示第二十三號

昭和十九年四月二十八日鳥取縣告示第二二一號鳥取女子職業補導所規程ハ昭和二十年十月十九日限り之ヲ廢止ス

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬 三

鳥取縣告示第二十四號

昭和二十年六月十二日鳥取縣告示第二二九號倉吉女子技術

期ニ區分) 毎ニ毎期前々月十五日迄ニ當該期間中ニ於ケル種類別、月別集荷計畫
前項各號ニ大ナル變化ヲ生スル場合ハ變更計畫ニ付亦同シ

第三條 鳥取縣農業會(以下縣農ト稱ス) 及市町村農業會ノ自己消費及自己消費以外ノ農業用ノ需要ニ對スル全國農業會(以下全農ト稱ス)ノ割當數量ニ付テハ毎四半期毎ニ當該期間中ニ於ケル自己消費及配給計畫ヲ樹立シ知事ニ届出ツヘシ

第四條 縣農及市町村農業會前條ニ依ル消費及配給ヲ爲シタルトキハ毎月十日迄ニ前月分ヲ取纏メ其ノ種類別、品目別、用途別、配給先別數量ヲ知事ニ報告スヘシ

第五條中「日本農工品配給株式會社」ヲ「全農」ニ「鳥取縣農工品小賣商業組合」ヲ「鳥取縣農工品小賣統制組合」ニ「産業組合聯合會」トアルヲ「縣農」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

00254

指導員養成所規程(昭和二十年十月十九日限り之ヲ廢止ス)

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬 三

鳥取縣告示第二十五號

鳥取建築工補導所規程左ノ通定ム

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬 三

鳥取縣建築工補導所規程

第一章 總 則

第一條 鳥取建築工補導所(以下單ニ補導所ト稱ス)ハ戰災並ニ強制疎開等ニ依リ失ヒタル住宅ノ建設急ヲ要スルノ秋建築工ノ激減セル現情ニ鑑ミ建築工ノ基礎的技術ヲ短期教習シ以テ中堅青壯年技能者ヲ急速ニ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 補導所ハ之ヲ鳥取市ニ置ク

第三條 補導所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 所 長
- 一 書 記

若干名

鳥取縣告示第二十二號

選舉ニ關スル告示ニシテ左ニ掲グル場合ハ日本海新聞廣告欄ニ之ヲ掲載ス

- 一 鳥取縣公報ニ登載ノ方法ニ依ルニ於テハ之ガ到達遲延ノ虞アリ告示ノ目的ニ影響アリト認メラル、トキ
- 二 鳥取縣公報ヲ發行シ得ザル場合ニ於テ市役所及町村役場ノ揭示場ニ揭示スルノ暇ナキトキ

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬 三

鳥取縣告示第二十三號

昭和十九年四月二十八日鳥取縣告示第二二一號鳥取女子職業補導所規程ハ昭和二十年十月十九日限り之ヲ廢止ス

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林

敬 三

鳥取縣告示第二十四號

昭和二十年六月十二日鳥取縣告示第二二九號倉吉女子技術

一 舍 監 一名

一 指 導 員 若干名

一 助 手 若干名

一 講 師 若干名

第四條 所長ハ知事ノ命ヲ受ケ所務ヲ掌理ス

第五條 舍監、指導員、助手ハ所長ノ命ヲ受ケ生徒ノ監督及訓育ノ任ニ當リ書記ハ庶務ニ従事シ講師ハ生徒ノ教養ノ任ニ當ル

第六條 生徒ノ定員ヲ五〇名トス

第二章 學科目及授業時數

第七條 補導ノ學科目及授業時數ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ所長ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ知事ノ承認ヲ受ケ科目ヲ増減シ又ハ授業時間ヲ伸縮スルコトヲ得(別 紙)

第三章 補導回数、期間及休業日

第八條 一回ノ補導期間ハ六ヶ月トシ年二回ノ補導ヲ實施ス 但シ知事ノ承認ヲ受ケ補導期間ヲ短縮スルコトヲ得

第九條 授業休日左ノ如シ

00255

- 一 祝日 祭日
- 二 日曜日

第十條 所長ニ於テ必要ト認メタルトキハ前條ノ授業休日ヲ變更スルコトヲ得

第四章 入所及修了

第十一條 入所志願者ハ左ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス

國民學校初等科ヲ修了又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第十二條 入所志願者ハ第一號書式ノ願書ニ所定事項ヲ記入ノ上所轄勤務署ヲ經由シ願書締切期日迄ニ之ヲ所長ニ提出スベシ

第十三條 入所志願者募集人員ヲ超過シタルトキハ銓衡ヲ行フ 銓衡ノ方法ハ所長之ヲ定ム

第十四條 入所ヲ許可セラレタル者ハ一週間以内ニ身元保證人ヲ定メ第二號書式ノ誓約書ヲ所長ニ差出スベシ

第十五條 所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第三號書式ノ修了證書ヲ授與ス

第五章 退 所

第十六條 退所セントスル者ハ身元保證人連署ノ上其ノ事由ヲ詳具シ所長ノ承認ヲ受クベシ

第十七條 左ノ各號ニ該當スル者ハ之ヲ退所セシム

- 一 操行不良ニシテ改換ノ見込ナキモノ
- 二 成績不良又ハ傷病等ニ罹リ成業ノ見込ナキモノ
- 三 正當ノ事由ナクシテ十日以上欠席シタルモノ

第六章 寄宿舎及生徒取締

第十八條 生徒ハ總テ寄宿舎ニ入舎セシム 但シ時宜ニ依リ所長ニ於テ通學セシムルコトヲ得

第十九條 舎生ニ對スル食費ハ之ヲ徴收セズ 但シ所長必要アリト認メタルトキハ食費ノ一部ヲ徴收スルコトヲ得

第二十條 寄宿舎及生徒取締ニ關スル細則ハ所長之ヲ定ム

第七章 授業料及補導手當

第二十一條 通學生徒ニ對シテハ各々事情ヲ考慮シ豫算内ノ範圍内ニ於テ補導手當ヲ支給ス

第二十二條 授業料ハ之ヲ徴收セズ

第八章 賞 罰

第二十三條 成績優秀操行善良ニシテ他ノ模範トナルベキ

00256

者ハ所長之ヲ褒賞ス

第二十四條 所ノ内外ヲ問ハズ生徒ノ本分ニ違反シタル者

ハ其ノ情狀ニヨリ左ノ懲戒ニ處ス

- 一 譴 責
- 一 謹 慎
- 一 停 學
- 一 退 學

第二十五條 補導所々屬ノ物品ヲ毀損シ又ハ亡失シタル者

アルトキハ其ノ情狀ニヨリ相當ノ辨償ヲナサシムルコトアルベシ

附 則

本規程ハ昭和二十年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(別紙) 教授要目及時間割

一 基本技能 三三〇時間

- (イ) 指短ノ使用法 一〇時間
- (ロ) 墨壺ノ使用法 一〇時間
- (ハ) 鉋ノ使用法及手入法 六〇時間
- (ニ) 鋸ノ使用法及手入法 六〇時間

(ホ) 鑿ノ使用法及手入法 六〇時間

(ヘ) 其ノ他工具使用法及手入法 六〇時間

(ニ) 木材ノ鑑別法及使用注 二〇時間

(ハ) 釘鐵物ノ使用法 一〇時間

(ウ) 繼平仕口加工法 二〇時間

二 應用實習 八〇〇時間

(イ) 簡易住宅建設實習 六〇〇時間

(ロ) 建物修理實習 二〇〇時間

三 學 科 九〇時間

(イ) 圖面ノ見方 三〇時間

(ロ) 水盛ノ遣方 三〇時間

(ハ) 板圖ノ書方 三〇時間

第一號書式

入 所 願

本籍地
現住所

氏 名
生 年 月 日

00257

今般鳥取建築工補導所ニ入所致度候ニ付御許可相成度關
係書類相添へ此段及御願候
年 月 日

右氏 名印

鳥取建築工補導所長殿

履 歷 書
本籍地
現住所

續柄 氏 名
生 年 月 日

一 學 業
一 職 業
一 賞 罰
右之通相違無之候也

右氏 名印

第二號書式

今般貴所ニ入所許可相成候ニ就テハ諸規程ヲ遵守シ専心
勤學可仕候仍テ誓約候也
年 月 日

本籍地
現住所

氏 名印

右之者御所在所中ニ係ル一切ノ事項ハ之ヲ引受ケ充分監
督ノ上諸規程固ク相守ラセ可申仍テ保證候也
年 月 日

本籍地
現住所

本人トノ續柄

氏 名印

鳥取建築工補導所長殿

第三號書式
修了證書

00258

右ノ者本所ノ科程ヲ修了セリ仍テ之ヲ證ス
年 月 日
何 某
生年月日

鳥取建築工補導所長 氏 名印

◇鳥取縣告示第二十六號

倉吉建築工補導所規程左ノ通定ム

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林 敬 三

倉吉建築工補導所規程

第一章 總 則

第一條 倉吉建築工補導所(以下單ニ補導所ト稱ス)ハ戰
災並ニ強制疎開等ニ依リ失ヒタル住宅ノ建設急ヲ要スル
ノ秋建築工ノ激減セル現情ニ鑑ミ建築工ノ基礎的技能ヲ
短期教習シ以テ中堅青壯年技能者ヲ急速ニ養成スルヲ以
テ目的トス

第二條 補導所ハ鳥取縣東伯郡倉吉町ニ置ク
第三條 補導所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 所長 若干名
- 一 書記 若干名
- 一 舎監 一名
- 一 指導員 若干名
- 一 助手 若干名
- 一 講師 若干名

第四條 所長ハ知事ノ命ヲ受ケ所務ヲ掌理ス

第五條 舎監、指導員、助手ハ所長ノ命ヲ受ケ生徒ノ監督
及訓育ニ當リ書記ハ庶務ニ従事シ講師ハ生徒ノ教養ノ任
ニ當ル

第六條 生徒ノ定員ヲ三五名トス

第二章 學科目及授業時數

第七條 補導ノ學科目及授業時數ヲ定ムルコト左ノ如シ
但シ所長ニ於テ必要アリト認ムル場合ハ知事ノ承認ヲ受
ケ科目ヲ増減シ又ハ授業時間ヲ伸縮スルコトヲ得
(別 紙)

第八條 一回ノ補導期間ハ六ヶ月トシ年二回ノ補導ヲ實施
第三章 補導回數、期間及休業日

ス 但シ知事承認ヲ受ケ補導期間ヲ短縮スルコトヲ得
第九條 授業休日左ノ如シ

一 祝日 祭日

二 日曜日

第十條 所長ニ於テ必要ト認メタルトキハ前條ノ授業休日ヲ變更スルコトヲ得

第四章 入所及修了

第十一條 入所志願者ハ左ノ資格ヲ具フルコトヲ要ス
國民學校初等科ヲ修了又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第十二條 入所志願者ハ第一號書式ノ願書ニ所定事項ヲ記入ノ上所轄勤務署ヲ經由シ願書締切期日迄ニ之ヲ所長ニ提出スベシ

第十三條 入所志願者募集人員ヲ超過シタルトキハ銓衡ヲ行フ 銓衡ノ方法ハ所長之ヲ定ム

第十四條 入所ヲ許可セラレタル者ハ一週間以内ニ身元保證人ヲ定メ第二號書式ノ誓約書ヲ所長ニ差出スベシ

第十五條 所定ノ課程ヲ修了シタル者ニハ第三號書式ヲ修了證書ヲ授與ス

了證書ヲ授與ス

第五章 退 所

第十六條 退所セントスル者ハ身元保證人連署ノ上其ノ事由ヲ詳具シ所長ノ承認ヲ受クベシ

第十七條 左ノ各號ニ該當スル者ハ之ヲ退所セシム

- 一 操行不良ニシテ改悛ノ見込ナキ者
- 二 成績不良又ハ傷病等ニ罹リ成業ノ見込ナキモノ
- 三 正當ノ事由ナクシテ月十日以上欠席シタル者

第六章 寄宿舎及生徒取締

第十八條 生徒ハ總テ寄宿舎ニ入舎セシム 但シ時宜ニ依リ所長ニ於テ通學セシムルコトヲ得

第十九條 舍生ニ對スル食費ハ之ヲ徴收セズ 但シ所長必要アリト認メタルトキハ食費ノ一部ヲ徴收スルコトヲ得

第二十條 寄宿舎及生徒取締ニ關スル細則ハ所長之ヲ定ム

第七章 授業料及補導手當

第二十一條 通學生徒ニ對シテハ各々事情ヲ考慮シ豫算ノ範圍内ニ於テ補導手當ヲ支給ス

第二十二條 授業料ハ之ヲ徴收セズ

第八章 賞 罰

第二十三條 成績優秀操行善良ニシテ他ノ模範トナルベキ者ハ所長之ヲ褒賞ス

第二十四條 所ノ内外ヲ間ハズ生徒ノ本分ニ違反シタル者ハ其ノ情狀ニヨリ左ノ懲戒ニ處ス

一 謹 責

一 謹 慎

一 停 學

一 退 學

第二十五條 補導所々屬ノ物品ヲ毀損シ又ハ亡失シタル者アルトキハ其ノ情狀ニヨリ相當ノ辦償ヲナサシムルコトアルベシ

附 則

本規程ハ昭和二十年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

(別紙) 教授要目及時間割

一 基本技能 三一〇時間

(イ) 指矩ノ使用法 一〇時間

(ロ) 墨壺ノ使用法 一〇時間

一〇時間

了證書ヲ授與ス

第五章 退 所

第十六條 退所セントスル者ハ身元保證人連署ノ上其ノ事由ヲ詳具シ所長ノ承認ヲ受クベシ

第十七條 左ノ各號ニ該當スル者ハ之ヲ退所セシム

- 一 操行不良ニシテ改悛ノ見込ナキ者
- 二 成績不良又ハ傷病等ニ罹リ成業ノ見込ナキモノ
- 三 正當ノ事由ナクシテ月十日以上欠席シタル者

第六章 寄宿舎及生徒取締

第十八條 生徒ハ總テ寄宿舎ニ入舎セシム 但シ時宜ニ依リ所長ニ於テ通學セシムルコトヲ得

第十九條 舍生ニ對スル食費ハ之ヲ徴收セズ 但シ所長必要アリト認メタルトキハ食費ノ一部ヲ徴收スルコトヲ得

第二十條 寄宿舎及生徒取締ニ關スル細則ハ所長之ヲ定ム

第七章 授業料及補導手當

第二十一條 通學生徒ニ對シテハ各々事情ヲ考慮シ豫算ノ範圍内ニ於テ補導手當ヲ支給ス

第二十二條 授業料ハ之ヲ徴收セズ

(イ) 鉋ノ使用法及手入法 六〇時間

(ロ) 鋸ノ使用法及手入法 六〇時間

(ハ) 鑿ノ使用法及手入法 六〇時間

(ニ) 其ノ他工具使用法及手入法 六〇時間

(ホ) 木材ノ鑑別法及使用法 二〇時間

(ヘ) 釘鐵物ノ使用法 一〇時間

(ロ) 繼平仕口加工法 二〇時間

二 應用實習 八〇〇時間

(イ) 簡易住宅建設實習 六〇〇時間

(ロ) 建物修理實習 二〇〇時間

三 學 科 九〇時間

(イ) 圖面ノ見方 三〇時間

(ロ) 水盛遣方 三〇時間

(ハ) 板圖書方 三〇時間

第一號書式

入 所 願

本籍地

現住所

今般倉吉建築工補導所ニ入所致度候ニ付御許可相成度關係書類相添へ此段及御願候

年月日

右氏 名印

倉吉建築工補導所長殿

履 歷 書

本籍地

現住所

續柄 氏 名

生年月日

一 學 業

一 職 業

一 賞 罰

右之通相違無之候也

年月日

第二號書式 誓 約 書

私 儀

今般貴所ニ入所許可相成候ニ就テハ諸規程ヲ遵守シ専心勤學可仕候仍テ誓約候也

年月日

本籍地

現住所

右氏 名印

右之者御所在所中ニ係ル一切ノ事項ハ之ヲ引受ケ充分監督ノ上諸規程固ク相守ラセ可申仍テ保證候也

年月日

本籍地

現住所

本人トノ續柄 氏 名印

倉吉建築工補導所長殿

第三號書式

60260-2

修 了 證 書

何 某 生年月日

右ノ者本所ノ科程ヲ修了セリ仍テ之ヲ證ス

年月日

倉吉建築工補導所長 氏 名印

鳥取縣告示第二十七號

價格等統制令第七條第一項但書ノ規定ニ依リ自轉車並ニリヤカ用タイヤ、チューブ最高販賣價格左ノ通許可セリ

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林 敬 三

一 申請者ノ住所、名稱及代表者名

鳥取縣東伯郡倉吉町

鳥取縣自轉車用ゴム製品配給統制組合

理事長 鷲 見 安 壽

二 販賣スルモノノ名稱及品種

自轉車並ニリヤカ用タイヤ、チューブ

三 豫定販賣數量

五 豫定販賣價格

(單位一本)

寸 法(吋) 卸賣業者最高販賣價格 小賣業者最高販賣價格

28	28	26	26
×	×	×	×
1 1/2	3/8	3/8	1 1/4
一五、五〇	一四、八〇	一三、四〇	一三、四〇
一七、八〇	一七、〇〇	一五、四〇	一五、四〇

四 豫定販賣先

縣下一回需要者 但シ鳥取縣自轉車タイヤ需給協議會委員會ニ於テ配給決定ナシタル需要者

一 タイヤ

00269

ケッチホルダー	單極二〇A	三、九〇
同	同 三〇同 (引込用)	六、〇〇
同	同 (變壓器用)	五、〇〇
同	同 六〇同	八、一〇
同	同 一〇〇同	一一、二五
同	單極二〇〇同	一九、六〇
笠留	(防水ソケット用)	一、三〇
同	二極六一一五A	一、八〇
モーターアタプター	製品ニシテ組合ノ検査ニ合格シタルモノニ適用スル價格トス	四、一〇
1 前各表品種ニ對スル定格電壓ハ特ニ明記セルモノ及セードホルダーヲ除キ一二五又ハ二五〇「ボルト」トス	4 本表價格ハ賣主店先渡價格トス	
2 前各表價格ハ物品稅法ニ依リ物品稅ヲ課セラル、モノニ付テハ物品稅ヲ含ミタルモノトス 但シ同法ニ依リ物品稅ヲ免除セラル、場合ノ最高販賣價格ハ前表價格ヨリ物品稅ニ相當スル額ヲ控除シタル額トス	5 包裝費ハ賣主負擔トシ荷造費ハ買主負擔トス	
3 本表價格ハ日本配線器具工業統制組合ノ組合員ノ	◇鳥取縣告示第三十號	
	價格等統制令第七條ノ規定ニ依リ本縣ニ於ケル和傘ノ最高販賣價格左ノ通指定ス	
	昭和二十一年一月二十五日	
	鳥取縣知事 林 敬 三	

00270

一 一般傘	骨ノ長	徑	高	目數	徑	柄	等	紙	卸賣業者最高販賣價格	小賣業者最高販賣價格
(一) 蛇ノ目傘	二尺以上	以一寸一分	以一寸四分	五〇以上	四分	以上	一、二番	半漉和紙又ハ機械和紙	二、六二五	二八、九〇
(二) 番 傘	一尺九寸	以一寸七分	以一寸四分	四八以上	六分	以上	一、二、三番	同	一、九九五	二二、〇〇
	一尺八寸	以一寸六分	同	四四以上	五分	以上	同	同	一、七八五	一九、六〇
	一尺六寸	以一寸四分	同	三六以上	四分	以上	同	同	一、四七〇	一六、二〇
	一尺四寸	以一寸二分	同	同	二分	五厘	同	同	一、〇五〇	一一、六〇
(三) 再生傘	一尺八寸	以一寸七分	同	同	同	同	同	同	一、六一〇	一七、七〇
	一尺六寸	以一寸六分	同	同	同	同	同	同	一、三三五	一四、六〇
二 地張傘										

00271

骨ノ長	徑	高	目數	徑	柄	等級	紙
(一) 蛇ノ目傘	二尺以上	一寸七分	一寸四分	五〇以上	四分以上	一、二番	手漉一號
(二) 番傘	二尺以上	一寸七分	一寸四分	四八以上	六分以上	同	同
	一尺八寸	一寸六分	同	四四以上	五分以上	同	同
	一尺六寸	一寸四分	同	三六以上	四分以上	同	同
(三) 再生傘	骨ノ長	紙	區別	特定生産者最高販賣價格(單位一本)			
	二尺以上	手漉一號	蛇ノ目傘	三、三〇			
	一尺九寸以上	同	番傘	二五、〇〇			
	一尺六寸以上	同	同	一八、二〇			
(四) 地張傘ノ價格ハ油三度引又ハ澁塗ノ上油一度引ヲ爲シタルモノノ價格トス							
(五) 全國和傘統制組合ノ登録證ヲ交付ヲ受ケタル地張傘特定生産者ノ製品ニシテ同組合ノ發行スル「地張傘特							

00272

番傘用	二尺六寸以上	六分以上	
同	二尺四寸同	五分以上	
同	二尺二寸同	四分以上	
三傘	骨		
種別	長	骨數	骨幅
番傘用	二尺二分	五〇本	五寸一分以上
同	一尺九寸五分	同	同
同	一尺八寸	四四同	四寸四分
同	一尺六寸	三六同	四寸

鳥取縣告示第三十一號

昭和二十年十二月十八日鳥取縣告示第四四五號和傘ノ最高販賣價格ハ之ヲ取消ス

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林 敬 三

鳥取縣告示第三十二號

左ノ病院ニ勤務スル醫師及齒科醫師ハ健康保險法第四十三

條ノ三及國民健康保險法第十九條ノ三並船員保險法第二十八條ノ四ノ規定ニ依リ保險醫トシテ昭和二十一年一月二十日指定セリ

昭和二十一年一月二十五日

鳥取縣知事 林 敬 三
鳥取縣岩美郡宇倍野村 國立 鳥取病院